

特研修第 1 03-4号

令和 3 年 4 月 2 6 日

各都道府県教育委員会教育長
各指定都市教育委員会教育長
各附属学校を置く国立大学法人学長
各都道府県知事

殿

独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所

理 事 長 宍 戸 和 成

(公 印 省 略)

令和 3 年度第二期・第三期特別支援教育専門研修
研修員候補者の推薦について (依頼)

当研究所の各種事業の実施にあたり、日頃より、ご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

このたび、令和 3 年度国立特別支援教育総合研究所特別支援教育専門研修（以下「専門研修」という。）のうち、第二期専門研修（知的障害教育コース）及び第三期専門研修（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース）の実施要項を別添のとおり決定いたしました。つきましては、同実施要項に基づき、貴管下の学校等における研修員候補者をご推薦くださいますようお願いいたします。特に、下記の点にご留意ください。

記

1. 受講資格

受講資格について、指導者養成のための研修であり、より専門性を身につけてもらいたいことから、第一期専門研修と同様に、教職経験に加え、受講しようとする専修プログラムと同じ障害のある幼児児童生徒の教育経験を 3 年以上有する者としています。

2. 研修の実施形態及び来所期間

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、引き続き第二期・第三期専門研修については来所期間を 1 週間とし、オンラインを併用して実施することとしています。また、密を避けるため、来所期間を 2 つのグループに分けることとしました。

3. 推薦締め切り等

第二期・第三期専門研修の研修員候補者の推薦期限は、令和 3 年 5 月 3 1 日（月）とさせていただきます。期限までの推薦が難しい場合には、ご連絡ください。また、推薦がない場合につきましても、その旨メール等にてご連絡くださいますようお願いいたします。



*本実施要項及び推薦様式は、当研究所ホームページにも掲載しています。

(https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/training_main/special_support)

<本件問い合わせ先>

総務部研修情報課研修支援室

Tel : 046-839-6889、6888 Fax : 046-839-6915

e-mail : a-kenshu@nise.go.jp

令和3年度第二期・第三期特別支援教育専門研修実施要項

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

1. 目的

インクルーシブ教育システムの充実に向け、障害のある幼児児童生徒の教育を担当する教職員を対象として、多様な学びの場（通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校）における各障害種ごとの教育の中核となる指導者（スクールリーダー）の専門性向上を目的とし、専門的知識及び技術を深め、指導力の一層の向上を図り、今後の各都道府県等における指導者としての資質を高める。

また、特別支援学校教員においては幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校を含む地域支援の一層の充実を目指し、地域の中核となるようその専門性の向上を図る。

2. 受講対象

幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校並びに教育委員会、特別支援教育センター等において受講しようとする専修プログラムが対象とする障害のある幼児児童生徒の教育を担当する教職員で、当該障害のある幼児児童生徒の教育に関し指導的立場に立つ者又は今後指導的立場に立つことが期待される者であること。

3. 受講資格

教職経験年数3年以上であり、かつ、選択した専修プログラムと同じ障害のある幼児児童生徒の教育に関する経験を3年以上有すること。また、各障害種ごとの教育経験が満たない者については、別途指定する配信講義を事前に視聴することを条件とする。

4. 専修プログラム、募集人員、研修期間及び研修時間

(1) 第二期・第三期特別支援教育専門研修（以下「専門研修」という。）は、2か月間、宿泊とオンラインを組み合わせる。専修プログラム、募集人員及び研修期間は下表のとおりである。※当初の計画より、第二期専門研修の集合・宿泊型研修期間を1週ずらしております。

コース名		専修プログラム	募集人員※1	研修期間
第二期	知的障害教育コース	知的障害教育専修プログラム	70名	令和3年9月8日(水) ～ 令和3年11月12日(金) 内、集合・宿泊型研修を ①10月4日～10月8日、 ②10月25日～10月29日 のいずれかで実施※2
		知的障害教育専修プログラム	70名	令和3年9月8日(水) ～ 令和3年11月12日(金) 内、集合・宿泊型研修を ①10月4日～10月8日、 ②10月25日～10月29日 のいずれかで実施※2
第三期	視覚障害・聴覚障害肢体不自由・病弱教育コース	視覚障害教育専修プログラム	70名	令和4年1月11日(火) ～ 令和4年3月16日(水) 内、集合・宿泊型研修を ①1月24日～1月28日、 ②2月14日～2月18日 のいずれかで実施※2
		聴覚障害教育専修プログラム		
		肢体不自由教育専修プログラム		
		病弱教育専修プログラム		

※1 募集人員を超えて推薦があった場合、人数調整することがある。

※2 研究所にて研修員を2つのグループに振り分け、来所人数を制限した上で、5日間の集合・宿泊型の研修形式を取り入れる。ただし、新型コロナウイルス等の社会情勢の変化によっては、この実施方式や期間を変更することがある。

- (2) 本研修では、各期コース共通事項のほか、各障害教育専修プログラムを実施する。
- (3) 研修期間において、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に定める休日は、休日とする。
- (4) 研修時間は、8時30分から17時15分までとする。

5. 研修内容、実施方法等

- (1) 専門研修は、講義、演習、研究協議、実地研修、課題研究から構成する。
オンライン（Zoom）と宿泊を組み合わせる研修を実施することとし、研修員への受講連絡の際、追って具体的な研修の日程等を通知するものとする。
講義等は、いずれの形式も、午前は9時15分から12時15分、午後は13時15分から16時15分で実施する予定である。
- (2) 研修員は、専門研修の開始前の事前学習として、インターネットを利用した配信講義視聴による学習を3時間程度行うこと。学習内容及び学習方法等については別途連絡する。

6. 研修員の推薦手続

- (1) 推薦機関は次のとおりとする。
 - ア 公立学校の教員及び教育委員会、特別支援教育センター等の教職員については、当該都道府県又は指定都市教育委員会
 - イ 国立大学附属学校の教員については、当該国立大学の担当部局
 - ウ 私立学校の教員については、当該都道府県知事部局
- (2) 推薦機関は、研修員候補者を選定し、別紙様式1及び2により当研究所の理事長（以下「理事長」という。）に推薦すること。
- (3) 推薦期限は、令和3年5月31日（月）とする。

7. 研修員の決定

理事長は、推薦のあった者の中から研修員を決定し、6月中旬を目処にその結果を推薦者に通知する。

8. 研修に関する事前提出物

- (1) 研修員は、研修員調書を作成し、推薦機関を通じて当研究所に提出すること。
- (2) 研修員及び推薦機関は、専門研修修了後の研修成果をより一層活用する観点から、研修成果の活用等に関する事前計画書を作成し、推薦機関を通じて当研究所に提出すること。
- (3) 研修員は、専門研修の受講前に当研究所が指定した内容に関する事前レポートを作成し、当研究所に提出すること。
なお、(1)～(3)の様式及び提出期限等については別途連絡する。

9. 研修レポートの提出

研修員は、専門研修修了時に研修成果をまとめた研修レポートを作成し、理事長に提出すること。
作成方法及び提出期限等については別途連絡する。

10. 修了証書の授与

所定の研修修了要件を満たした者に修了証書を授与する。

1 1. 研修に要する経費

受講料は徴収しない。宿泊料その他所要経費については別紙参照のこと（集合・宿泊型研修の期間中、研修員は、原則として当研究所の研修員宿泊施設に宿泊すること。）。

1 2. 免許法認定講習

専門研修においては、各専修プログラムに教育職員免許法施行規則に基づく免許法認定講習を併せて開設する予定である。履修方法等については別途連絡する。

各専修プログラムで修得できる単位は、下表のとおりである。

専修プログラム名（コース名）	修得可能な単位（予定）
知的障害教育専修プログラム （知的障害教育コース）	特別支援学校教諭（知的障害者に関する教育の領域） 一種又は二種免許状の取得に必要な単位 計6単位
視覚障害教育専修プログラム （視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース）	特別支援学校教諭（視覚障害者に関する教育の領域） 一種又は二種免許状の取得に必要な単位 計7単位
聴覚障害教育専修プログラム （視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース）	特別支援学校教諭（聴覚障害者に関する教育の領域） 一種又は二種免許状の取得に必要な単位 計7単位
肢体不自由教育専修プログラム （視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース）	特別支援学校教諭（肢体不自由者に関する教育の領域） 一種又は二種免許状の取得に必要な単位 計6単位
病弱教育専修プログラム （視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース）	特別支援学校教諭（病弱者に関する教育の領域） 一種又は二種免許状の取得に必要な単位 計6単位

1 3. 免許状更新講習

専門研修においては、各専修プログラムに免許状更新講習規則に基づく免許状更新講習を併せて開設する予定である。免許状更新講習の受講方法等については別途連絡する。

1 4. 研修の中止等

推薦機関は、専門研修の実施に先立って研修派遣を取り止める場合又は専門研修期間中に研修員の派遣を中止もしくは中断する場合は、その理由を付した書面を速やかに理事長に届け出て承認を得ること。

1 5. その他

(1) 専門研修修了後、研修員、所属長及び派遣教育委員会に対して、アンケート調査等を実施する予定である。

(2) この要項に定めるもののほか、特別支援教育専門研修の実施に関し必要な事項は、別に定める。

(別紙)

令和3年度第二期・第三期特別支援教育専門研修期間中に要する経費

第二期・第三期特別支援教育専門研修は、オンライン研修と5日間の集合・宿泊型の研修を組み合わせる予定です。集合・宿泊型研修の期間中、研修員は、原則として当研究所の研修員宿泊施設に宿泊することとなります。受講料は徴収しませんが、以下の経費を要します。

1. 研修員宿泊棟宿泊料

1泊当たり1,600円(4泊で6,400円)

- *所内規則により、宿泊日数に応じて、1泊あたりの宿泊料を算出しております。
- *宿泊料には、光熱水料等相当額、寝具リース・クリーニング代を含みます。
- *生活用品(トイレトーパー、石けん、ゴミ袋等)は各自負担となります。
- *宿泊料は、予め金融機関振込によるものとし、受講決定者において連絡します。
- *原則として既納の宿泊料は返還できません。

[居室概要]

- *東研修員宿泊棟の利用を予定し、全室ユニットバス・トイレ・エアコン付きの個室です。
- *机、椅子、ベッド(衣類整理箱付き、時計なし)、ロッカー、電気スタンドを備え付けています。
- *事前登録により、有線・無線LANを利用できます。
- *共用スペースに洗濯機、衣類乾燥機、掃除機、冷蔵庫、電子レンジ、アイロン等を備え付けています。

2. 食事代金

4泊で5,810円

当研究所の構内に、研修受講者のための研修員食堂を委託しており、来所研修開始時に期間中の利用食券を購入し、ご利用いただく予定です。

[内訳]

研修員食堂定食料金(令和3年4月現在) 朝食390円、昼食550円、夕食650円

- 1日目 夕食650円
- 2日目 朝食390円、昼食550円、夕食650円
- 3日目 朝食390円、昼食550円、夕食650円
- 4日目 朝食390円、昼食550円、夕食650円
- 5日目 朝食390円

3. 実地研修旅費及び教材費(実費)

研修プログラムとして、日帰りで1～2箇所の実地研修を検討しており、現地までの旅費が発生する可能性があります。また、講義等では、受講者に教材費(実費)をご負担いただく場合があります。

その他

オンライン研修はZoomにて実施する予定です。受講にあたっては、必要な機器及びインターネット環境を所属校等又は受講者にてご準備をお願いいたします。また、通信費についても、所属校等又は受講者の負担となりますのでご了承ください。

(様式1)

令和3年度特別支援教育専門研修 研修員候補者推薦一覧

推薦機関等名：_____

コース名：_____

コース

推薦 順位	希望専修 プログラム名	集合・宿泊 研修希望*	ふりがな 氏 名 生 年 月 日	性別 年齢	勤 務 先 (担当障害種)	職 名	教職経験年数 (当該障害種担当経験年数)	備 考
1		第 期 ①	昭和 平成 年 月 日	男・女	()		年 ヶ月 (年 ヶ月)	<input type="checkbox"/> 特別な 配慮必要
		歳						
2		第 期 ①	昭和 平成 年 月 日	男・女	()		年 ヶ月 (年 ヶ月)	<input type="checkbox"/> 特別な 配慮必要
		歳						

○年齢欄は、令和3年4月1日現在で記入ください。

○研修員候補者は、幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校並びに教育委員会、特別支援教育センター等において受講しようとする専修プログラム※が対象とする障害のある幼児児童生徒の教育を担当する教職員で、当該障害のある幼児児童生徒の教育に関し指導的立場に立つ者又は今後指導的立場に立つことが期待される者をコース別にご推薦ください。

第二期 知的障害教育コース 知的障害教育専修プログラム

第三期 視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース

①視覚障害教育専修プログラム、②聴覚障害教育専修プログラム、

③肢体不自由教育専修プログラム、④病弱教育専修プログラム

*集合・宿泊研修希望の記入について

本研修では、来所期間を1週間とし、オンラインを併用して実施することとしています。密を避けるため、2グループに分けて実施しますので、ご希望を次の中から選択し、記入してください。(調整有り)

第二期①10月4日～10月8日、②10月25日～10月29日

第三期①1月24日～1月28日、②2月14日～2月18日

○「備考」欄には、受講する上で特別な配慮を必要とする場合は必ず☑を付してください。

また、特別な配慮を要する内容については、略歴書(様式2)に具体的に記入してください。

(連絡担当者)

担当者名	所属・職名	電話・ファクシミリ	e-mail

※ご提出いただいた個人情報に関する事項については、当研究所内において研修事業の運営のために使用するもので、その他の目的には使用いたしません。

(様式2)

略 歴 書

コース名 (希望専修プログラム名) :

(

教育専修プログラム)

令和3年4月1日現在

ふ 氏	り が	な 名		性 別	男 ・ 女
生	年	月	日	昭和 平成	年 月 日
勤	務	先	名称 : _____ 住所 : _____ 連絡先 (Tel・e-mail) : _____	職 名	
最 卒	終 業	学 年	歴 月	(年 月)	
期	間		略 歴 (学校・学級 (障害種)・担当教科等、行政歴等)		
自	年	月	日		
至	年	月	日		
自	年	月	日		
至	年	月	日		
自	年	月	日		
至	年	月	日		
自	年	月	日		
至	年	月	日		
取得している教育職員免許の種類及び取得年月日					
学校教諭			〔専修・一種・二種 / 普通・特別・臨時免許状〕 教科・特別支援教育領域 :	昭和 平成 令和	年 月 日
学校教諭			〔専修・一種・二種 / 普通・特別・臨時免許状〕 教科・特別支援教育領域 :	昭和 平成 令和	年 月 日
学校教諭			〔専修・一種・二種 / 普通・特別・臨時免許状〕 教科・特別支援教育領域 :	昭和 平成 令和	年 月 日
研修歴 (当研究所の研修受講歴) があれば、開催年度、研修名等を記入してください。					
開催年度 、研修等名					
①特別な配慮の具体的な内容 (ある場合) : _____					
②免許法認定講習履修希望の有無 : 有り 無し					

※ご提出いただいた個人情報に関する事項については、当研究所内において研修事業の運営のために使用するもので、その他の目的には使用いたしません。

